

Lo-bee^{ca/}

市民活動情報誌“ロビー”

ロビーは、あなたがまだ見ぬ、ヒト・コト・モノとの新たな関係を創ります。

2025.10 第10号



表紙 あげた
上ヶ田区の皆さん

1・2ページ 自治探訪

100年以上前から区民が楽しむ地域の伝統、相撲。コロナ禍で休止せざるを得なかった時期もあったが、一度立ち止まったことで見えてきた地域づくりのヒント。有志の自主的な活動が地域を支える。その鍵とは・・・

3ページ 団体探訪……傾聴ボランティア

ほっとスペースのみみい

4ページ 企業探訪……だがしや 陽だまり

5ページ ぼくらの活動ノート…^{おさだけい}長田憩さん

6ページ 裾野市市民活動センターへようこそ
読者プレゼント

裏表紙 各区の人口情報など

あ げ た 上ヶ田区（富岡地区）

裾野市の中心部より北の方向に位置する。湧き水
を用水にして水田を拓いた地域で稲作が盛ん。裾
野市史（神社明細帳）によると、上ヶ田の氏神で
ある神明宮は1781（天明元）年に創立、伊勢神
宮から分霊をいただいたという伝承がある。毎月
17日、集会所で念仏講も行っている。区の人口
は471人、180世帯。（2025年4月1日の住民基本台帳より）



力のこもった取り組みを見せる子どもたち・泣き相撲優勝？

地域の困りごとに取り組む鍵は・・・郷土愛。

はじまりは、大人相撲

100年以上前から地域の伝
統として親しまれている上ヶ田
相撲の歴史は、観音堂奉納相撲
がはじまりと伝えられています。
現在の上ヶ田区集会所の場所は
昔、山であり、山の上に観音堂
がありました。現在は集会所内
に観音が安置されています。左
下の写真は、大正14年ころ撮
影された、当時の観音堂を知る
ことができる貴重な1枚です。
観音堂の横には土俵があり、青
年団など大人が相撲の取り組み
を楽しんでいました。区民の記

憶によると、70年前ころから
こども相撲になり、家族総出で
相撲を楽しむようになったとい
います。「子どものころに相撲
に出たよ」という区民も多く、
地域の伝統として子や孫、ひ孫、
その次の世代まで、相撲文化が
受け継がれています。

泣き笑いあり、“こども相撲”

「はっきよい のこった のこっ
た」。行司の勇ましい掛け声が
今年の夏も集会所に響き渡りま
した。区内の子どもたちが体を
張って真剣勝負に挑む、こども
相撲。例年は屋外の土俵で行

われますが、今年は悪天候のた
め、富岡第一小学校のマットを
借りて集会所ホールでの開催と
なりました。勝って喜びを体で
表現する子、負けて悔しさをに
じませる子、土俵にあがった子
どもたちをみんなが応援し、会
場は熱気と笑顔に包まれていま
した。

なんと、今年は日本相撲協会
の中村部屋（東京）から西御許
と加藤の現役力士2人がサプ
ライズ登場。力士の胸を借りた
一番や赤ちゃんの健康と成長を
願う泣き相撲も行われ、会場は
大盛り上がりでした。



観音堂を背景に、新調した法被姿で記念撮影する消防組員



まつりを盛り上げる上ヶ田区民の中学生

存続の危機を救う助っ人

これまで、こども相撲の企画・運営はこども会が担っていましたが、こども会が解散したことで昨年の相撲は休止となりました。しかし、子どもたちのころに相撲を経験した区民が奮起し、行司を務めた勝又幸治さんをはじめとする有志と区の役員らが実行委員会を立ち上げ、こども相撲の復活を果たしました。

また、富岡中学校を通じて区民の中学生ボランティアを募ったところ、6人が手をあげてくれました。事前準備の段階から力を発揮、当日は会場で司会進行や相撲を終えた子どもたちにお菓子を手渡ししたり、出店を担当したりし、頼もしい助っ人となりました。

八木淳二区長は「子どものころから相撲は当たり前であり、楽しみの一つだった。行事やまつりは地域住民が顔を合わせる機会になり、意義がある」と話します。また、「地域の子ども

は地域で育てる。顔がわからないではね。顔見知りを増やすにはまつりが一番」と思いを語ります。

区の活動を支える有志活動

上ケ田区は11組からなり、毎月、各組が輪番制で集会所と上ケ田神明宮などの清掃を行っています。しかし、子どもたちの通学路や道路脇の草刈りなどの美化活動は区の活動だけでは追いつかない状況だと前区長の八木健二さんはいいます。そこで八木さんは陰で区の活動を支える自主活動の「上ケ田陰奉仕」を立ち上げました。「有志が集まった。強制ではなく、やれる人がやればいい。それがキー」と話し、「コロナ禍はまつりなどを中止せざるを得なかったり、去年はこども相撲がなかったりした。休止したことで地域のコミュニティの大事さや行事の楽しさに気づかされた。地域の人同士が顔を合わせることが地域づくりのポイント」と語ります。

地域愛で伝統を守る

上ケ田神明宮がある上ケ田区では年7回の祭事を執り行っています。10月の例大祭に向けては、区民有志によるしめ縄づくりが行われます。区内で米をつくる区民から約10kgの稲藁いなわらが無償提供され、昔の人の知恵で作られた手作りの道具を使ってしめ縄づくりの準備をします。大鳥居のしめ縄は4m弱、本殿は3.6m、全部で9本のしめ縄を完成させます。今年の例大祭は10月12日に執り行い、集会所では余興などを楽しむ秋まつりが行われました。

「地域愛が強い人が多い。それが自慢」と強調する八木区長。地域の課題を知り、得意分野を活かして区の活動をサポートする有志活動。相撲や祭事などの伝統や歴史を守る区民。まつりなどの行事で世代を越えて顔を合わせる機会をつくり、地域づくりに取り組む上ケ田区のみなさんです。



こども相撲の土俵をつくる区民有志



区民有志によるしめ縄づくり

けいちょう 傾聴ボランティア

ほっとスペース♡みみい

令和4年1月発足。“傾聴”に特化したボランティア活動を展開。市内6カ所の高齢者施設訪問や在宅訪問のほか、話を聴いてほしいという人のための居場所「ほっとスペース」を市内2カ所で開いている。傾聴の心が広がり、明るく平和な社会を目指して活動中。令和7年6月、ソロプチミスト日本財団・社会ボランティア賞受賞。



ボランティアで傾聴活動に尽力するみなさん

“傾聴”のボランティア活動を通して地域づくりに貢献

“傾聴”とは

傾聴とは、“聴く”と“伝える”の二刀流！聴くとは、話す人の思いや感情を理解すること。伝えるとは、話し手に「聴いてますよ」というサインを伝えること。この訓えはNPO 傾聴講師研究会が伝えています。ほっとスペース♡みみいのメンバーは、令和4年から3期に渡り、同会主催の傾聴ボランティア養成講座（全6回）を受講し、傾聴の心得を学んだ終了生約60人で構成しています。

ほっとスペース♡みみいを立ち上げたのは、横山歌代子さん、岩佐正子さん、岡本和枝さん。

3人は、明るい社会づくり運動静岡県裾野地区協議会に所属し、協議会が活動の一環で行っていた傾聴活動にフォーカスして団体を発足させました。

令和5年5月から傾聴活動をはじめ、延べ750人以上の傾聴を実施しています。

日常の中に傾聴を！

日々の暮らしの中で欠かせない人間関係。一般的に心の健康を維持していくためにはグチャや本音をこぼせる場と相手が必要だと言われ、話すことで自分自身の気持ちに気づき、こたえを見つけるヒントになるとも言われています。傾聴は、相手に寄

り添い、心を込めて話を聴くというもの。3人は「親子や夫婦、友だち、職場、地域など、人とのつながりの中で傾聴が活かされる。日常生活の基本ね」と話します。傾聴を学んだメンバーからは「自分自身が優しくなれた気がする」「家族の話に寄り添うことができ、今まで言えなかった感謝の言葉を伝えることができた」という声も。

目まぐるしく変化する生活環境の中で傾聴の心を広げていきたいと語る3人。「今、社会が求めている」と力を込め、子どもたちや保護者、教育現場で働く人たちへの傾聴も行っていきたいと展望を語ります。



和やかに傾聴する横山歌代子さん（左）、「ほっとスペース」にて

ほっとスペース ※予約不要・どなたでも。

・裾野市福祉保健会館3階 会議室

日時：毎月第3土曜日 10時～12時

・県営住宅茶畑団地集会所

日時：毎月第3木曜日 10時～11時30分

【問合せ】裾野市社会福祉協議会 ☎055-992-5750

ほっとスペース♡みみい 横山さん ☎090-9929-4144

だがしや 陽だまり



令和3年オープン。裾野市深良の県道394号(沼津小山線)沿いに、駄菓子販売や食堂的要素を含めた店を開いている。市内で行われるイベントに出張駄菓子屋として出店したり、(たくさんの店が集まる青空市場のような)マルシェを主催したりしている。人がつながりを持てる場所を提供したいと強調する。



楽しく集える場所を提供する大庭陽子さん

楽しく集える場を提供する、まちの小さな駄菓子屋さん

思いは、“楽しんでほしい”

昔なつかしいカラフルなパッケージが並ぶ店内。「うちの店の一番人気は、じゃが塩バター。当たり・はずれのくじ付き駄菓子やモロッコヨーグルトも人気」。そう話すのは約4年半前、自宅の敷地内で駄菓子店をはじめた大庭陽子さん(69)です。「誰でも集える場所、みんなが楽しめる場所をつくりたい」という思いで定年退職後に店を構えました。

市内の幼稚園などに勤務していた元保育者の大庭さんは、子どもたちに楽しんでもらいたいという思いが強く、親子で一緒

に楽しめる場所といえば“駄菓子屋さん”が思い浮かんだといいます。

店内には駄菓子のほかに、大庭さん自身が集めた絵本や譲り受けたおもちゃなどが置かれ、自由に使うことが出来ます。かき氷なども販売し、飲食できるスペースも設けています。

アットホームな空気感

お金を握りしめて駄菓子を選ぶ子どもたち、「駄菓子〇個でいくらになるかな?おつりはいくらかな?」などと会話をする親子連れ、絵本の読み聞かせや射的を楽しむ人たちなど、店内はアットホームな空気が流れ

ます。時には子育ての悩み相談を受けたり、子ども同士で過ごろうとした時には声を掛けて話をしたりすることもあるそうで、小さな駄菓子屋さんならではの醍醐味です。

約3年前から市内でマルシェも主催。子どもたちが竹馬や竹とんぼの昔遊びを体験できるブースや手作り雑貨の店、飲食店などを募り、店舗のほかにも楽しめる場を提供しています。「子どもは財産」という大庭さん。出店料は子育ての環境づくりに役立ててほしいと裾野市に寄付する予定。「駄菓子屋は私の老後の楽しみ。ぼちぼちと続けていきたい」と微笑みます。



大庭さんが主催するマルシェの様子

だがしや 陽だまり

場所：裾野市深良 160-1

営業時間：水曜日～木曜日・土曜日 15:00～17:00

(都合により営業日や時間に変更になる場合あり)

電話：090-5105-0782 (大庭さん)

春と秋に「SDG s虹色マルシェ」を開催。次回は3月頃を予定。

出店者は随時募集。問合せは、大庭さん。

ぼくらの活動ノート



真夏のある日、涼し気に海の上を飛ぶウミネコの幼鳥
(写真：長田憩さん撮影)

野鳥に魅了されて

お腹から尾びれにかけてオレンジ色をして、「ヒッ、ヒッ」と鳴くスズメ目・ヒタキ科に分類される小鳥、オスのジョウビタキに出会ったのは長田さんが小学6年生の時でした。たまたま東小学校に飛来した小鳥を見て、「かわいい。何という鳥だろう？鳥って色んな鳴き声があるんだな～」と鳥の色や鳴き声に興味を持ったことがきっかけとなり、以来、自然の中で飛び交う野鳥に魅了されています。今では身近な鳥の鳴き声を聞き分け、鳴き声を聞いただけで鳥の名前がわかるようになりました。

カメラ、双眼鏡、野鳥図鑑、まだ見ぬアカショウビンの刺しゅう入り帽子は、長田さんがバードウォッチングに出掛ける時の必須アイテム。今年9月、海辺でハヤブサがアオバトを狙う様子を目の当たりにし、「鳥ならではの行動に遭遇した」と嬉しそうに語ります。最近では、その一瞬を切り取ろうとカメラでベストショットを収めるという楽しみも増えました。

つくば開成高校 沼津校 1年

おさだけい
長田憩さん(15)

(裾野市立東小学校・東中学校卒業)

将来の夢

長田さんは、裾野野鳥を守る会や日本野鳥の会東富士の会員になり、裾野市内外で行われる探鳥会にも参加しています。今年5月に開催された水ヶ塚公園周辺での一般参加を含む夏季探鳥会では、みなさんに楽しんでもらいたいとの思いで集合時間の3時間以上前に現地入りし、鳥の鳴き声に耳を傾けて20種類以上の野鳥がいることを確認。大人顔負けの知識にみなさんを驚かせました。長田さんをよく知る裾野野鳥を守る会の滝道雄^{たきみちお}会長は「自然に対して気遣いがある。鳥だけではなく植物や昆虫など自然界全体をけん引してほしい」と期待を寄せています。

身近に色々な種類の鳥がいることを多くの人に知ってほしいと話す長田さん。「鳥が自然体で生きられるように理解を呼び掛けていきたい」と話します。また、「その土地にしか生息しない鳥を実際に見に行くのが夢。将来は鳥に関わる仕事に就きたい。鳥が自然の中で住みやすい環境でいられるように保全活動にも関わりたい」と語ります。



鳥の声に耳を傾け、カメラを構える長田憩さん

地域のみつばち Local bee の巣

裾野市市民活動センターへようこそ



市民活動センターは、区や市民活動団体の運営・活動の企画、企業の CSR 活動のほか、ボランティアや補助金・助成金の情報など、幅広い相談に対応します。皆さんがちょっと踏み出す気持ちに寄り添い、活動を支えます。

市民活動センターのつばやき

地域ことばと若者ことば

「人は国に住むのではない、国語に住むのだ。国語こそが我々の祖国だ。」思想家 エミール・ミハイ・シオランが述べた言葉です。

私たちが使う日本語は、実に柔軟な言語です。歴史の中で幾度となく存続を脅かされながらも、多様な言語を受け入れ進化して今に至ります。そのようななか、形を変えずに受け継がれてきた「地域ことば（以下便宜上「方言」とします）」は、日本の誇りとも言えるでしょう。裾野市では、「だら」「うちうち」という言葉が代表的で、他にも数え切れないほどの方言が息づいています。

方言が「自己の表現を満たす言葉」であるならば、「若者ことば」も方言の一部とみなせるでしょうか。方言は独特なニュアンスが強く、他の地域には伝わりにくい場

面があります。一方、若者ことばは時代が求めた言葉遣いであり、地域を超えて広まります。しかし、流行の移り変わりが早く、世代差によって使用頻度の違いが大きいのが特徴です。興味深いのは、「それな」「知らんけど」（関西）「バリ〇〇」（福岡）など、方言が若者ことばとしても使用されている例もしばしばあることです。若い世代はニュアンスを広げるため方言を取り込み、自分たちのアイデンティティ形成を試みていることから、互いを補完している関係性となっているようです。

日本語に正解不正解は存在しません。日本語は、時代や地域にかかわらず変化を許し、受け止めてくれる存在と言えます。新しい言葉についていけないと嘆く私たち大人世代もまた、その柔軟さを見習い、世の中の変化を受け入れたいですね。

施設案内

～自治活動・市民活動・企業の CSR など～

ところ 裾野市深良 435（生涯学習センター1階）

電話 055-992-6100

職員対応日 火曜日～金曜日 9時～17時

（祝日・年末年始等を除く）（不在の場合あり）

施設利用 8時30分～21時30分

（生涯学習センター休館日を除く）

詳しくは、市公式ウェブサイトを

ご確認ください



\ Lo-bee 読者プレゼント /

PRESENT

ロビーをお読みいただきありがとうございます。
読者の中から、抽選で素敵なプレゼントが当たります。右下の応募フォームからご応募ください。
当選者には、市民活動センターからご連絡します。



陽だまり様より、
店内で駄菓子などのお買い物ができる引換券を5名様にプレゼントいたします。

応募フォーム



数字でみる私の地域 ～進めよう！役・事業・取り組みの見直し～

地区	番号	区名	人数 (人)	世帯数	80歳以上 一人世帯	14歳以下 のいる世帯
西	1	石脇	1777	754	47	152
	2	佐野上宿	1118	513	27	105
	3	佐野本宿	609	273	15	50
	4	佐野若狭	725	335	24	48
	5	佐野二	1600	686	43	147
	6	大畑	105	47	5	7
	7	上町	829	366	25	84
	8	緑町	232	111	15	10
	9	元町	654	283	24	69
	10	桃園	848	420	40	39
	11	富沢	1799	832	29	197
	12	南町	337	149	10	28
	13	二ツ屋一	631	310	23	51
	14	二ツ屋二	399	191	7	20
	15	堰原	1210	521	18	109
	16	伊豆島田	1513	681	24	138
	17	水窪	931	415	19	78
東	18	久根	912	391	36	60
	19	公文名一	613	285	19	34
	20	公文名二	596	266	17	40
	21	公文名三	546	261	11	40
	22	公文名四	378	152	10	26
	23	公文名五	329	143	10	9
	24	中丸上	572	272	15	57
	25	中丸中	383	171	9	28
	26	中丸下	707	343	22	53
	27	天理町	241	101	6	13
	28	滝頭	747	345	20	60
	29	本茶	798	378	23	72
	30	道上	206	93	9	12
	31	峰下市の瀬	379	178	23	14
	32	鈴原	259	124	31	11
	33	茶畑団地	526	331	40	30
	34	青葉台	1029	444	20	54
	35	和泉	859	426	24	52
	36	富士見台	777	337	34	55
	37	麦塚	610	277	20	39
	38	新道	387	190	15	27
	39	東町	142	84	2	7
	40	本通り	30	12	2	1
	41	日の出元町	99	55	6	1
	42	本村上中	378	170	10	39
	43	本村下	919	417	25	77

地区	番号	区名	人数 (人)	世帯数	80歳以上 一人世帯	14歳以下 のいる世帯
深良	44	町震一	591	248	22	42
	45	町震二	231	100	8	21
	46	舞台団地	38	30	8	0
	47	南堀	585	253	25	30
	48	和市	201	79	5	16
	49	遠道原	396	159	15	27
	50	切久保	186	77	6	9
	51	上原	390	163	12	29
	52	上原団地	32	23	4	0
	53	原	339	142	10	17
	54	上須	239	107	11	12
	55	深良新田	451	195	13	23
	56	岩波	1273	601	39	89
富岡	57	千福	689	288	11	56
	58	御宿平山	170	82	4	16
	59	御宿上谷	486	196	16	36
	60	御宿新田	1617	697	30	166
	61	御宿坂上	595	243	28	41
	62	御宿入谷	617	275	14	44
	63	上城	223	73	3	19
	64	中村	181	78	8	13
	65	下条	166	70	6	9
	66	中里	383	162	19	26
	67	田場沢	211	79	8	12
	68	森脇団地	100	72	3	4
	69	上ヶ田	471	180	12	35
	70	金沢	872	396	16	57
	71	今里	558	248	22	25
	72	今里上	178	61	0	36
	73	下和田	703	300	21	35
	74	呼子	872	336	13	44
	75	矢崎	297	156	0	43
	76	トヨタ	226	212	0	3
	77	御宿台	234	134	0	33
	78	千福が丘	2392	1059	59	129
	79	千福南	138	70	2	5
須山	80	須山一	340	141	18	22
	81	須山二	328	128	10	16
	82	須山三	387	144	14	25
	83	須山四	54	22	1	4
	84	須山六	434	172	26	32
市内合計			48375	21827	1396	3544

2025年4月1日（住民基本台帳より）

Lo-bee 発行（年4回）裾野市市民活動センター

〒410-1102 裾野市深良435 裾野市生涯学習センター1階

☎055-992-6100 ✉scenter@city.susono.shizuoka.jp